

**話題のらくがんを作る楽心堂本店を紹介**

FBSの大人気番組「めんたいワイド」の企画「集まれ! EE 町なま自慢」で8月5日に日本唯一のらくがん専門店である楽心堂本舗(金田)が紹介されました。店主の大井知子さんはらくがんの作り方や作業場をリポータの山口たかしさんとアナウンサーの澤田泰佑さんとともに紹介し、らくがんの魅力を伝えました。



↑ 最後は楽心堂本舗の皆さんとテレビ局の皆さん、ふくち案内人、町職員で写真撮影。

↓ くじ引きでは、それぞれがほしい景品をめがけ慎重にくじを引く子どもたち。



**夏の楽しい時間がくれた素敵な思い出**

子育て支援センターで7月11日に今年で2回目となる「なつまつり」が行われました。去年に引き続き、大好評のこのまつりには18組の親子が参加し、ヨーヨー釣りやくじ引きなど6店舗の出店や盆踊りなどを満喫。子どもたちは、なつまつりを通じて、親子の絆やお友達との仲を深め、夏ならではの素敵な思い出を作りました。

**玉入れ3番勝負で深めた選手との交流**

カノアラウレアーズ福岡で活躍する大西風歌選手と横田希歩選手が、8月14日にデイサービス「生力ユーカリ園」を訪れました。利用者14人と触れ合うため、紅白チームに分かれての「玉入れ3番勝負」を実施。和やかな戦いを2対1で赤組が制した後、記念撮影や会話を通して両者の交流を深めていました。



↑ 男性利用者の「籠に玉を置くプレースタイル」に爆笑の大西風歌選手。

↓ 昼食の1つとしてフルーツポンチ作り挑戦。白玉団子の型抜きに悪戦苦闘。



**地域を引っ張っていく児童生徒を育成**

福智町解放子ども会・子ども学習会の「ジュニアリーダー研修会」が、8月19日に「福智町やすらぎ館」(伊方)で開かれました。赤池・金田・方城地区の小5から中3までの39人が参加。SNSでの誹謗中傷などに関する人権学習や昼食作りなどを通して、各地区をまとめるジュニアリーダーとしての意識を養いました。

↓ 給食委員会委員長を務める伊方小6年生・春永絢心さん(写真Ⓔ)が、高津勝平さんⒻへ感謝状を贈呈。



**高津勝平さん新米10俵寄贈 米価高騰の今厚意の新米寄贈**

町の農業従事者・高津勝平さん(伊方)が、今年収穫した新米600kgを町教育委員会に寄贈しました。その感謝を伝える「感謝状贈呈式」が9月24日に伊方小で行われ、高津さんは2年1組の児童26人と一緒に寄贈した新米が使われた給食を実食。子どもたちからお礼として合唱と演奏のプレゼントが贈られ、高津さんは目を細めながら耳を傾けていました。

**九州大学「社会教育主事講習」課題を学び解決方法を考えた現地研修**

社会教育主事の資格を取得する講習の一環として福智町で2泊3日の現地研修が行われ、九州各地から受講生13人が来町しました。研修では町内の社会教育施設や史跡の見学、職員や地域住民からの講義や意見交換などを実施。参加者たちは、研修を通じて自治体が抱える課題を学び、解決方法を検討しました。



↑ 最終日は3班に分かれ、企画や課題解決の方法を町への提言として発表。

↓ 食事は全日程で自炊に取り組み、集団行動の大切さを学んだ子どもたち。



**夏季少年のバス 参加者の規律と友情育んだ宮崎への旅**

青少年育成町民会議主催の「夏季少年のバス」が8月8日から10日までの間、宮崎県で行われました。延岡市の大自然を舞台に児童生徒と指導員50人は、ドリフトダイビングやメガSUP、海水浴、キャンプファイアなどに挑戦。子どもたちは研修を通じて規律意識を育み、同世代の仲間との友情を築いていました。